



# 杉本ひろふみ 後援会だより

## VOL.3

【発行・編集】

杉本ひろふみ後援会

〒473-0911

豊田市本町高根23番地10

TEL:0565-54-4537

FAX:0565-54-4539

# 謹賀新年

(本町 アステの西側から撮影)

## 新しい時代への幕開け



新年明けましておめでとうございます。

また平素から後援会活動や議員活動に、多大なるご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて世の中は、確実に少子高齢化が進行し、豊田市においても65歳以上の高齢化率が25パーセントを超えるのは時間の問題となってきました。

また、豊田市の基幹産業である自動車産業は、EV化の推進で、産業構造そのものも大きく変わろうとしています。

どんな時代を迎えても、豊田市が、そして竜神地区が安全で安心して生活できるまちづくりに取組んでいかなければなりません。

本年もみなさんからご意見、ご指導をいただきながらしっかりと取組んでいきますので、よろしくお願い申し上げます。

豊田市議会議員 杉本ひろふみ



## 竹村駅の利便性の向上と踏切対策について

### 太田市長へ要望書を提出

12月25日(月)竹村地区の最大の懸案事項である竹村駅について、駅の利便性の向上と乗降客の安全の確保、そして踏切の渋滞対策について、本町を含めた竹村地域全自治区長の連名で、要望書を太田市長に提出し受理されました。

まだまだ先は見えませんが、実現のために今後ご理解とご協力を、お願い申し上げます。



## 1. 市政報告

### ☆KITARA（駅前通り北地区市街地再開発事業）がオープン



11月25日（土）豊田市駅前通り北地区に建設中だったKITARAがオープンしました。

駅側から地上8階のシネマコンプレックスの入る商業施設、中央には特別養護老人ホームなどの高齢者福祉施設、そして約160戸の住宅施設が完成し、オープニングセレモニーが行われました。

また当日シネマコンプレックスにおいて、オープン記念として、豊田市を舞台にした映画「星めぐりの町」の上映会が開催され、監督の黒土三男さん、主演の小林念侍さん、高島礼子さん、壇蜜さんが訪れ、舞台挨拶が行われました。

撮影は昨年4月に豊田市内各地で行われ、見覚えのある風景や施設がスクリーンいっぱいに映し出され、とても親近感を覚えました。

### ☆防災ラジオの運用が始まる

豊田市は、災害時の緊急情報を市民に伝える手段として、平成19年から20年にかけて、市全域をカバーするデジタル行政無線や、インターネットを利用して携帯電話やスマートフォンに個々に緊急情報を提供する「緊急メール豊田」のシステムを整備してきました。

しかし、情報機器に不慣れな市民や山間部の難聴エリアへの対策から、戸別型の受信機の設置の要望が高まってきました。

今回その戸別型の受信機として、ポケットベルの電波を利用した「防災ラジオ」の導入が始まります。「防災ラジオ」は、通常は普通のラジオとして利用し、電源が入っていない状態でも緊急情報を受信できるラジオです。配布価格は1台3000円で、申込書に必要事項を記入して、各支所の窓口か市役所の防災対策課へ申し込みます。

タイプとしては、音声だけの受信と文字情報で受信する2つのタイプがあります。ただし、配布は高齢者世帯や障害を持った方に優先して配布される予定です。



## 2. 議会報告

### 平成29年9月定例会

一般  
質問

#### 【質問1】収益性の高い農業形態の推進

施設園芸の強みは、雨に当たらないため病気が少ない、天候に作柄を左右されない、露地ものと収穫期をずらせる、品質が高い、さらには、作付け回数が多いことがあげられる。豊田市における施設園芸の人材育成、栽培技術等の普及についてお聞きする。

#### 【その答弁】（答弁者：産業部 前田部長）

施設園芸については、導入に向けた相談等に対し、各種補助制度の紹介や農地の斡旋、関係機関の紹介・調整など支援を行っている。また、第3次農業基本計画においては、「高付加価値を生む都市近郊型農業の推進」を施策の柱に掲げており、その実現のため、施設園芸への支援を進めるほか、農商工連携や6次産業化等の取組を進めていく。



#### 【質問2】他自治体の豪雨災害から学ぶ防災対策

九州北部豪雨から見える本市の課題についてお聞きする。

#### 【その答弁】（答弁者：地域振興部 中野部長）

愛知県内にある土砂災害防止法に基づく警戒区域のうち、約45%が豊田市に集中しているため、広範囲で土砂災害が発生する恐れがある。

そのため土砂災害による被害をできる限り少なくするため、早期の避難勧告等の情報提供を行っていくことが必要となっている。

豊田市も多量の流木により、流域の家屋や橋が壊され、被害が拡大する恐れがあり、今後も他地域の災害の事例から、その状況や原因を検証し、本市の防災対策に生かしていけるよう勤めていく。

### 3.特別委員会視察報告

平成29年11月7日から9日まで、豊田スタジアムを生かしたまちづくり特別委員会で、ラグビーワールドカップ2019大会を契機としたまちづくりの取組について、京都市、神戸市、福岡市を視察しました。

ここ数年来外国人観光客の取り込みに大きな成果を挙げている京都市、2002年のサッカーの世界カップを開催した経験を持つ神戸市、そして九州の玄関口として、国際会議の開催や、大規模なスポーツイベントなどで豊富な経験を持つ福岡市と、それぞれにいろいろな事例を交えて意見を聞くことができました。

各都市ともJR新幹線を中心とした交通アクセスに恵まれ、宿泊施設等も多い反面、それぞれに課題に取り組んでいることも大いに参考になりました。



### 4.交流館利用の利便性が大幅に高まる!

12月の議会において交流館を利用する市の条例が改正され、平成30年4月1日より大幅に利便性が向上することになりました。従来は、会議室やホールの利用は、3時間単位の時間設定でしたが、交流館ごとに様々な設定できるようになり、1時間単位の料金設定となりました。

また、営利を目的とした利用についても、大幅に規制が緩和されました。



### 6.竜神地域で進む事業と地域からの要望

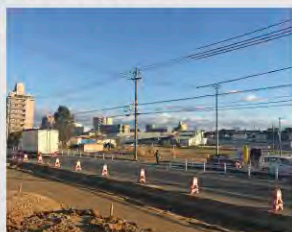
#### ●大きく変わる土橋駅周辺の道路状況

現在土橋地区の区画整理事業で、名鉄三河線と逢妻男川を渡る橋の工事が3月末利用開始に向けて急ピッチで工事が進められていますが、この跨線橋の完成に伴い、接続する道路の状況が大きく変わってきます。

土橋駅南側は、信号のある交差点に整備され、跨線橋に接続する曙町の未整備の区間も道路幅が拡張され、整備されます。

また、土橋駅北側の国道419号と跨線橋が接続する交差点も信号機が整備され、現在新しく整備されている道路部分へと付け替えが行われます。

旧豊田信用金庫の交差点は、橋の架け替え工事のため踏切方向への通行ができなくなります。



#### ●新池公園の拡張整備

竹村新池公園は、水辺に親しむ公園として竹村地域の多くの市民の憩いの場になっています。

この新池公園が、市民の活動の場として多面的に利用できるように各地区で意見をとりまとめ、9月13日に市へ新池公園の拡張整備に関する要望として区長会より提出されました。



#### ●宝町の県道の押しボタン式信号機の設置



県道豊田一色線の宝町のスギ薬局前の横断歩道について、地域の子どもたちや高齢者の方々の安全を確保する面からも、押しボタン式信号の一日も早い設置を、今後も継続して取り組んでいきます。

### 5.杉浦 拓さん(竹元町)が 全日本マスターズ優勝

10月27日から3日間にわたり和歌山市の紀三井寺公園陸上競技場で開催された国際・第38回全日本マスターズ陸上選手権大会のM55クラス(55歳から59歳)に地元 杉浦 拓さん(竹元町)が出場され、100mの優勝をはじめ、3種目で入賞する素晴らしい成績を収められ、11月24日に太田市長へ優勝の報告をされました。

主な成績は、100m 優勝、200m 準優勝、400mリレー 準優勝と本当に素晴らしい成績で、太田市長も杉浦さんに陸上競技を始められたきっかけや、どうしたら年齢を重ねても体力を維持できるのか、熱心に質問をされていました。





# Topics 竜神地域のトピックス

## ●土橋ふれあい敬老会

9月9日(土)土橋児童館において、土橋自治区主催の区民ふれあい敬老会が開催されました。



今年は会の余興に清水町にお住まいの内藤さんご夫婦によるサクソと琴のコラボレーションがあり、洋楽器と和楽器の素晴らしいハーモニーの演奏に、参加した高齢者の方々も、楽しいひと時を過ごされました。

## ●大きなサツマイモにみんなびっくり！！

10月26日と31日に住吉こども園と竹村こども園の子どもたちが、「野菜ひろば竹下」の方々と、サツマイモの収穫を体験しました。

土を掘っていくと出てくる大きなお芋に、子どもたちは大歓声。

子どもたちの様子に、お世話いただいた「野菜ひろば竹下」の皆さんも、自然と笑顔になりました。



## ●竹村・「小さな旅」第1弾

11月26日(日)竹村文化振興会の主催により、住吉町、竹町、中町の史跡をまわる郷土の歴史を知る竹村・「小さな旅」の第一弾が開催されました。

約20名の参加者は、3つのグループに分かれ、龍興寺から出発し、竹八幡社、竹村駅、太田商店・地藏堂、竹村小学校、竹上共同墓地、西雲寺などを巡って龍興寺へ戻るコースを、説明を受けながら楽しく歩きました。

普段見過ごしてしまっている身近な施設や史跡に、改めて郷土の歴史を考える機会になりました。



## ●竹下ウォーキング

12月3日(日)竹下自治区主催によるウォーキング大会が開催され、好天にも恵まれて、200名を越す区民が参加しました。

コースは、竹下津島神社をスタートし、整備中の竹元公園を見学して、広田のもみじ広場で休憩、津島神社に帰ってくるコースです。



休憩の時の焼き芋と、ゴールしたあとのつき立てのお餅に、参加した区民もたいへん満足した様子でした。



## Snapshot スナップショット

### 初音川ビオトープ愛護会 (竹中自治区)



年間を通して初音川ビオトープの草刈等の管理をし、矢作川研究所の協力を得て、ビオトープに在来種の花をつける植物を増やし、自然の豊かさを高める活動を続けています。



## 編集後記

毎年12月にその年の世相を表す漢字が発表される。阪神淡路大震災の発生した1995年から23回目の発表になった昨年の漢字は「北」だそうだ。

北朝鮮による朝鮮半島情勢の緊迫が反映されたそうだが、折しも豊田市においてもKITARAがオープンし、「北」に縁の深い年となった。

豊田市駅前の再開発事業はこれでひと段落するが、目的とする「にぎわい」を作り出していくのはこれからの私たちが、いかに利用していくかにかかっている。

## お問い合わせ先

ご意見・お問い合わせは、右記よりお願いいたします。皆様より頂いた貴重なご意見は、今後の活動に活かしてまいります。



## 杉本ひろふみ後援会事務所

〒473-0911 豊田市本町高根23番地10  
TEL / FAX : 0565-54-4537